

	<h1>志木三小だより</h1> <p>学校教育目標</p> <p>賢く 優しく 逞しく</p>	志木市立志木第三小学校
		平成29年度 第6号
		平成29年8月29日
		志木市柏町3丁目2番1号
		TEL 048 - 471 - 1062
		児童数8月29日現在606名



夏休みを終えて 新学期に思うこと

校長 可知 良之

今年の8月は例年になく雨の多い夏休みでした。それでも子供たちにとってはゆったりとした時間の中でたくさんの経験や体験ができたことと思います。7月の終業式で子供たちに、「今年の夏休みに校長先生はやりたいことが3つあります」とお話をしました。いわば私の宿題として子供たちに宣言したわけですが、実はそのうちの1つで苦戦しています。1番目に挙げたその課題とは、『最低10冊は本を読む』でした。この原稿を書いている時点でまだ、半分ですので、何とかあと数日で頑張らないといけません。夏休みが始まる前の子供たちはきっとこんな気持ちなのかもしれません。もちろん、きちんと早めに済ませてしまう子の方が多いとは思いますが・・・

さて、意外にも苦戦をしてしまいました。苦戦の最中遠い昔の自分自身と出会うというとても素敵な出来事が起きました。今回新しい本を読みたいと、久しぶりに駅前の書店を何気なく覗いていたときのことです。昔からなぜか書店巡りは好きだったので、至福の時を過ごしていました。すると私の目に一冊の本の題名が飛び込んできました。『時間砲計画』何かとても懐かしい気がして手に取ってみると復刻版と書いてあります。「あっ！」思わず店内で大声を出すところでした。なんと私が中学2年生の時、(昭和50年)初版が出されたSF小説でした。当時、そろそろ勉強にも力を入れなければいけないと思いつつ、

まだ部活や好きなこともやりたいと思っていた多感な頃、当時SF小説にはまっていたので、その頃もおもしろそうな本だなと思い、お小遣いで文庫(220円でした)を購入しました。そんな記憶が一気によみがえるという不思議な体験をすることができました。早速復刻版を購入し一気に読み上げました。42年前に書かれた文章ですので歴史的な時代背景など今の人が読むと不思議に思うところもありますが、私としては逆におもしろく感じました。

読書には、大きく3つの楽しみ方があるそうです。1つは、日常的に読みたいと思う本を多読する楽しみ方、もう1つは、同じ本を時を変えて繰り返し読む楽しみ方、(今回の私の体験はこれに当たる)そして、最後の1つは、自分の生き方や考え方のバイブルとなる究極の1冊をいつも手元に置いて読む楽しみ方です。1番目の多読には少々苦戦しましたが、2番目の繰り返し読む楽しさは十分味わえた夏休みの宿題だったと思います。

今年、志木第三小学校では『子供たちに小学生のうちに読んでほしい100冊』と銘打った読書活動推進事業を計画しています。この2学期に始められるようにと図書館司書や司書教諭を中心に教職員が珠玉の一冊を選定しています。3番目の楽しみに繋がる本に出会えるかもしれません。子供たちとともに3つの読書の楽しみに触れてみませんか。